

2023年12月19日

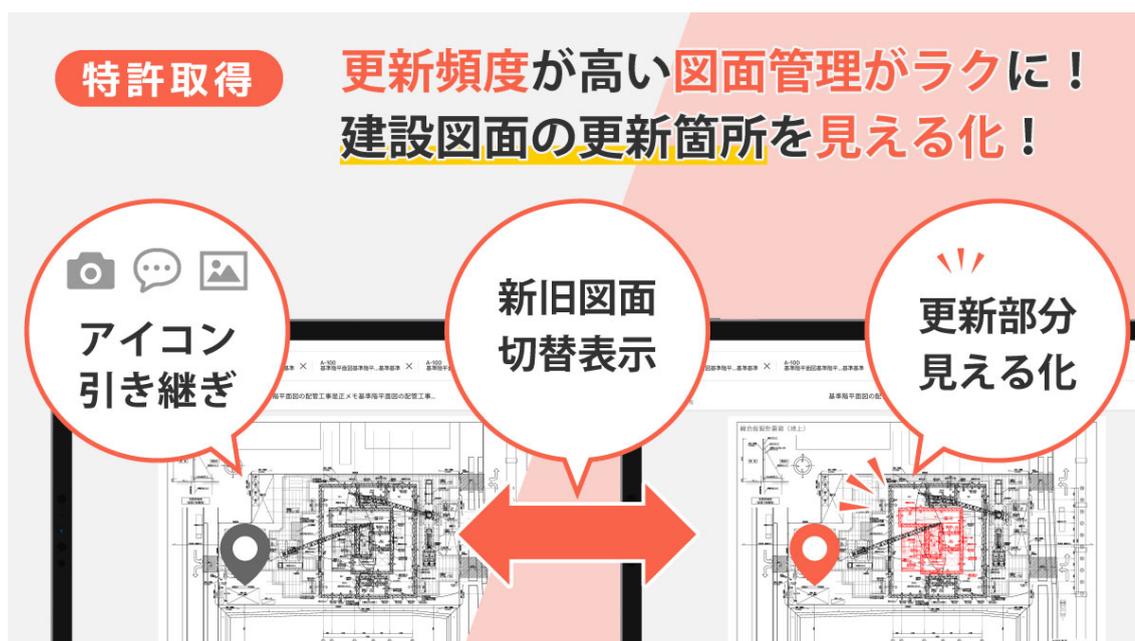
スパイダープラス株式会社

代表取締役社長 伊藤謙自

(東証グロース：4192)

## 基本特許「建設図面の更新箇所見える化」を取得

建設DXサービス「SPIDERPLUS」を提供するスパイダープラス株式会社は、基本特許技術「建設図面の更新箇所見える化」（以下、「本発明」）を業界で初めて取得したことを発表いたします。



本発明は、「建設図面が更新された際に、自動で更新箇所見える化し、更新前後の建設図面を切替表示したり、アイコン／メモ／写真などを引き継ぐことができる」技術です。

建設現場では、施工の進捗に伴って建設物と建設図面との間に差異が発生する場合があります、その対応の1つとして建設図面の更新が行われます。図面が更新された場合、現場作業者が新旧図面を見比べながら行う変更箇所の確認に要する工数や、変更前の図面に登録した各種データの引き継ぎに関する課題がありました。

本発明を活用することで、更新箇所が色分け等によって更新後の図面に強調表示され、また、更新前の図面に登録したデータを更新後の図面にも引き継ぐことが可能になります。当社は今後、本発明を応用しながら、建設現場の業務運用がより効率化する機能の開発を行い、建設現場のさらなる業務効率化に貢献してまいります。

## ■特許概要

特許番号	特許第7389941号
登録日	2023年11月21日
特許権者	スパイダープラス株式会社
発明の名称	図面更新システム、図面更新方法及びプログラム

## ■CIPO（執行役員知財責任者）谷口将仁のコメント

建設DX業界にとって、非常に重要な特許を取得することができました。本特許の権利範囲は非常に広く、まさに基本特許と言えます。

業界初の基本特許技術「建設図面が更新された際に、自動で更新箇所が見える化して、更新前後の建設図面を切替表示したり、アイコン／メモ／写真などを引き継ぐことができる機能」を提供できるようになるため、「SPIDERPLUS」の利便性が向上します。また本発明を有望企業とのアライアンスにも活用してまいります。

スパイダープラスでは他にも多数の特許出願をしております。顧客価値を基点に知財戦略を推進することで、スパイダープラスだけにしか提供できない独自機能を拡大し、持続的な企業価値の向上を最大化してまいります。

## ■知財リリースについて

持続的な企業価値向上における知的財産及び無形資産の重要性が高まっていることを踏まえ、スパイダープラスは、知財管理体制の構築と中長期の成長戦略及びプロダクト・ロードマップに沿った知財戦略の策定をしております。

当該知財戦略のもと模倣困難性の高い機能群を構築し、また、取得した知的財産権については積極的な情報開示を行うことで、当社プロダクト及びサービスの提供価値を建設業界に発信してまいります。

知財戦略ページのURL：<https://spiderplus.co.jp/about-us/ip/>

### 【本件に関するお問合せ】

スパイダープラス株式会社 経営企画室 IR 担当

メール問い合わせ先：ir@spiderplus.co.jp

電話問い合わせ先：03-6709-2834